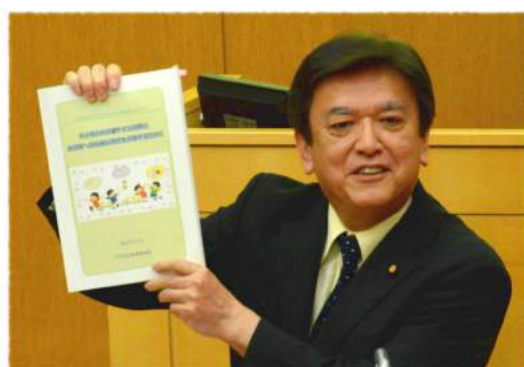


平成31年第1回定例会

公明党議員団ニュース

調査なくして発言なしとは公明党の伝統です！会派の政務活動内容を定例会ごと「通信」また「ニュース」としてご報告しています。読まれてのご意見、ご感想をお待ちしています！

全ての幼稚園で給食を！ 病児・病後児保育を！



大串ひろやす

問 現在、給食が実施されていない幼稚園は、麴町、番町、九段そして御茶ノ水の4園である。当然、栄養士の方もいない。五感が最も発達するこの幼児期

に五感を使う食育が必要だ。子どもの健全な発達に重要とされる理由である。これら4園についても他の園同様、給食を通しての食育ができるようにしてはどうか。行うためには調理室の整備などのハード面、栄養士の配置などのソフト面の整備が必要であるが、今後の方向性としては明確にすべきである。所見は。

答 〈教育長答弁〉

幼稚園を含めた就学前の児童の昼食については、食育の観点からどのようなスタイルがいいのか多様な考え方がある。現実問題として幼稚園において給食を提供するには、ハード・ソフト両面において困難な課題があり、直ちに実施できるような状況にはない。しかしながら、幼稚園に通う園児の保護者の今日における就労状況や家庭環境の変化などを踏まえると、幼稚園における給食の提供についても、これは前向きに議論を進めていくべきものと私は考えている。



- 他の質問と提案は
- ▼食育についての基本的な考え方は
- ▼食育推進の方法は
- ▼国民健康保険料の負担軽減を！
- 詳しくは

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~ogushi/opinion/31.1.htm>



米田かずや

問 千代田区でも4箇所では病後児保育をおこなっている。時期にもよるが、定員オーバーとなることが多く、利用できないときが多々あると保護者の

方からよく伺う。他自治体では民間の病院と連携しながら病児・病後児保育を行っているところがある。そこで本区も、今後ますます需要が見込まれる病児・病後児保育を民間の病院と連携し、病児・病後児保育施設を開設してはどうか。またその際は整備費など助成し、環境を整えてはどうか。所見は。

答 〈子ども部長答弁〉

区内4施設での病後児保育及び保育派遣費用助成の利用実績は、就学前人口の増加にともない年々増加している。そのため定員が超過し、お断りする事例がある。今後は、保育園における病後児保育室の空き情報の共有化や派遣体制の強化について協議を行い、ニーズに対応できるように努めていく。病児保育については強く利用を希望するニーズは把握している。現段階においては、事業実績のある病院へ打診しており、実現に向けて努力していく。



- 他の質問と提案は
- ▼屋内喫煙所設置助成について
- ▼太陽光パネルについて

力を合わせて「大好きな千代田」 を一緒につくっていきます！

二期連続、国民健康保険料
の引き下げが実現！

ふじみこどもひろばの
開設が実って3周年



1月22日、区長へ国民健康保険料の負担軽減を求めて予算要望を行う
(左から、石川区長、大串ひろやす、米田かずや)



ふじみこどもひろば開設から3周年
(左から、米田かずや 大串ひろやす)

国保の制度が今年の4月より変わりました。一点目は、これまでの23区統一保険料方式から各区独自に保険料率を決めることができるようになったことです。二点目は、一般会計から国保会計への法定外繰入の解消を国が区市町村に求めていることです。この法定外繰入を行わなければ保険料の上昇は避けられません。そこで、私たち公明党議員団は昨年につき「国民健康保険料の負担軽減のための緊急要望」を行いました。結果、区は今年度とほぼ同額の法定外繰入を行い、独自の保険料率を定め高所得層を除く約9割の方々の保険料が31年度も引き下がることとなったのです。2年連続の快挙となりました！



ハイブリッドママ園長からお話しを聞く

衆議院九段宿舎跡地に
ついて暫定的な利用
でよいので子どもたちが
ボール遊びできるように
してもらいたいとの相談
に、私ども公明党議員団
は国会議員とのネットワ
ークを生かし関係各部署と
も協議を重ね、平成28年に「ふじみこどもひろば」と
してオープンできました。丸3年が経過し、園庭として
使用している園長及び子どもの遊び場として利用して
いる保護者の皆さんからお話しをお伺いしました。

★皆様からのご相談ご要望が31年度予算に反映されました！

- 児童虐待のない社会を目指して！
- ▼ 子ども達が作成した「子ども版共育 ビジョン」の配布
(「子どもの権利条約」の普及・啓発)
- ▼ 産後ケア事業の拡充(ちよまま面談事業や赤ちゃん訪問
事業を通してリスクの高い母親を産後ケア事業へ)
- ▼ 要保護児童等の区内ショートステイ事業(要支援児童も
含みます)

- 保育士奨学金助成制度がスタート
- モデル地区を設けての地区防災計画作成支援
- フレイル予防の推進
- 目の不自由な方向けに、選挙広報の音声化がスタート

